

# 平成29年度 第2回学校評価 保護者・児童アンケートの結果と今後の取組

館林市立第四小学校  
平成30年2月28日

12月に実施しました学校評価では、大変お世話になりました。これは、その結果と今後の改善に向けての取組についてお知らせする資料です。ぜひ、ご一読をお願いします。

評価	AとB 合計人数の割合	◎と○の 割合	保護者 全18項目	児童 全18項目	今後の取組
とてもよい	90%以上	10項目	18項目	18項目	継続します
よい	80～89%	7項目	0	0	充実を図ります
ふつう	60～79%	1項目	0	0	改善します
やや悪い	30～59%	0	0	0	すぐに改善します
悪い	29%以下	0	0	0	抜本的に改善します

## 保護者の評価

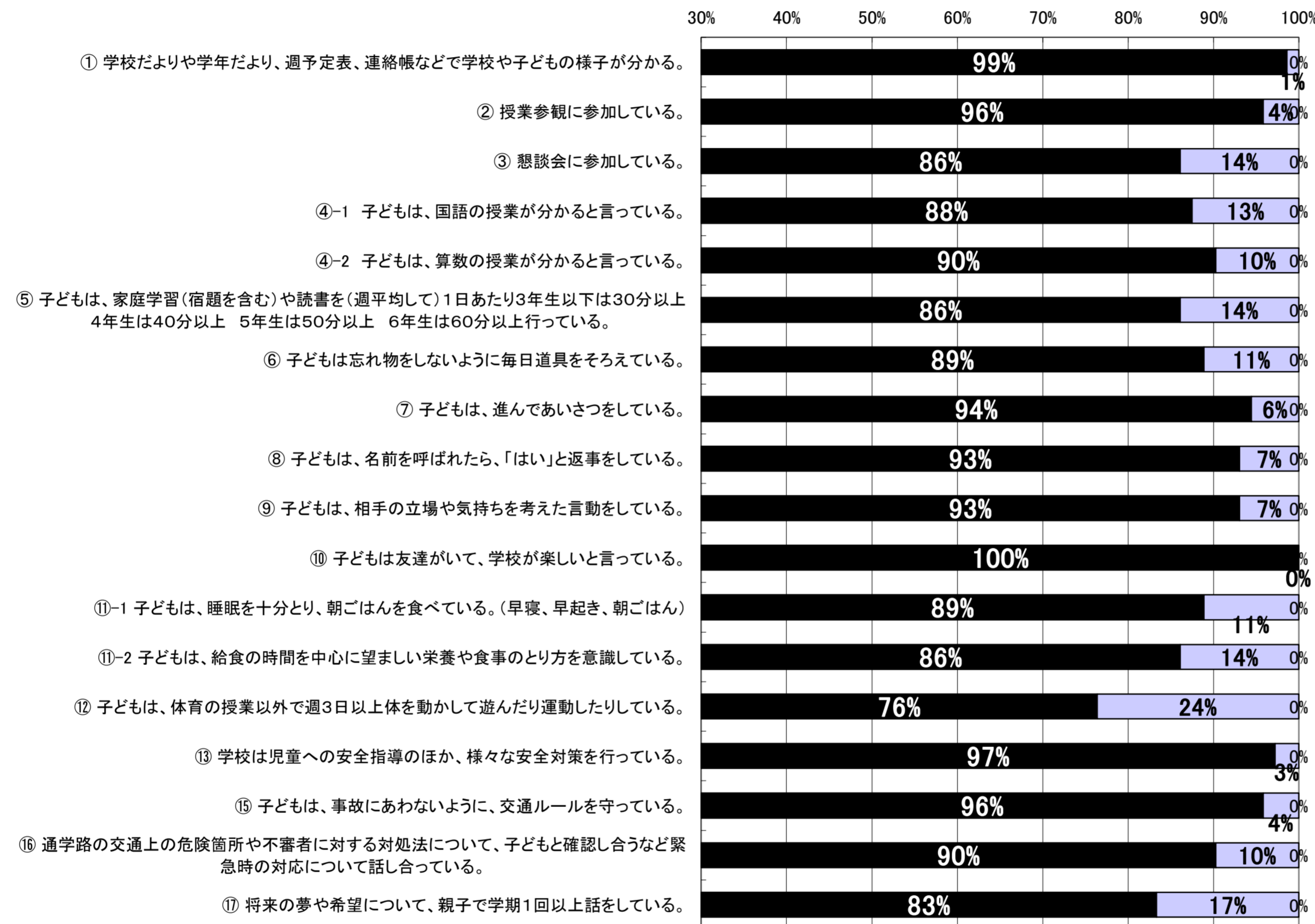
- ベスト1 ⑩ 子どもは、友達がいる、学校が楽しいと言っている。100%  
 ベスト2 ① 学校だよりや学年だより、週予定表、連絡帳などで学校や子どもの様子が分かる。99%  
 ベスト3 ⑬ 学校は児童への安全指導のほか、様々な安全対策を行っている。97%  
 ベスト4 ② 授業参観に参加している。96%  
 ⑮ 子どもは、事故にあわないように、交通ルールを守っている。96%

## 児童の評価

- ベスト1 ⑦ 進んであいさつをしている。100%  
 ⑨ 友だちがいやがることを言ったり、したりしない。100%  
 ⑮ 事故に合わないよう、交通ルールを守り正しい歩き方や自転車の乗り方をしている。100%  
 ⑲ 地域の人たちと運動会やサツマイモ植え、世代間交流会をすることは、楽しい。100%  
 ベスト5 ( ④-1、⑩、⑪-2、⑬-2、⑰-1、⑰-2 ) 98%

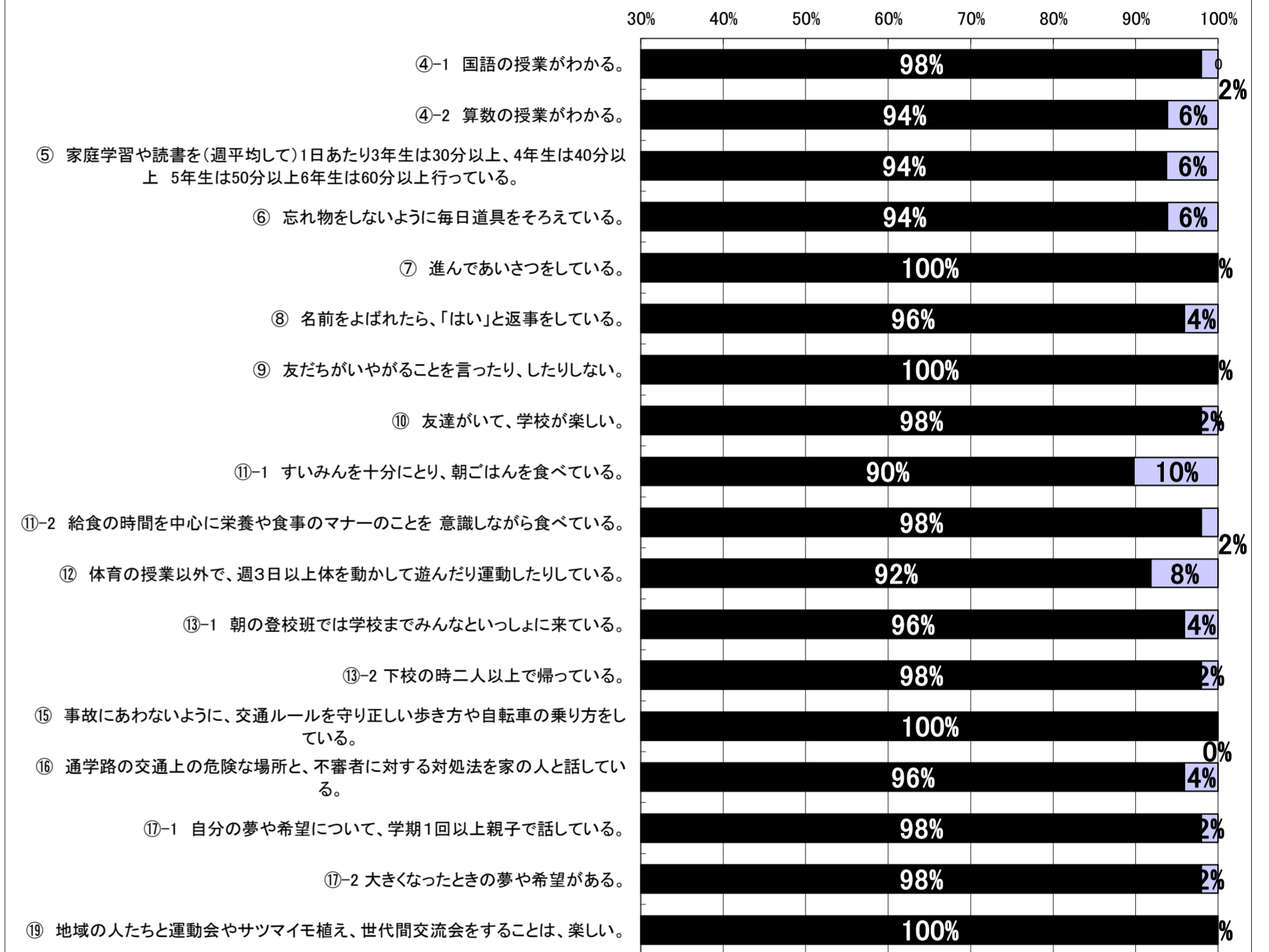
## 第2回保護者評価

■◎+○ □△+▲ □無答



## 第2回児童評価

■◎+○ □△+▲ □無答



○注意する項目(目標数値以下の項目) 注釈(今回/目標数値)、★学校として、■保護者として

- ⑫「体を動かす」(76%/80%) \*保護者の自己評価が12%増えました。  
 ★学校は、休み時間になわとび運動や外遊びを励行しています。なわとびを支援するジャンプ台を置いています。また、子ども同士の運動遊びの、誘い合い運動を進めています。  
 ■家庭では、一緒にストレッチやジョギング、なわとび運動等をお勧めします。
- ⑥「忘れ物をしない」(89%/90%) \*保護者の自己評価が1%増えました。  
 ★学校は、帰りの会を10分確保したり、連絡小黒板を利用したりするなどして、連絡事項の周知徹底を図っています。また、個に応じた指導も徹底して行っています。  
 ■家庭では、連絡帳や週予定等に目を通して完全に揃っているかの確認をお願いします。

### ○目標値を達成しているがさらに数値を上げたい項目

- ⑰「親子で将来の夢や希望について話し合う」(83%/80%) \*児童の自己評価は2%増えました。  
 ★学校では、機会があるごとに様々な職業等の事例を話すとともに、「夢カード」やワークシートを活用し、話す場を設定していきます。  
 ■家では、お子さんと話し合っってワークシートの感想等のご記入にご協力ください。また、親御さんの職業の魅力について話してあげてください。

○注意する項目(目標数値以下の項目) は、ありませんでした。アップした項目をお伝えします。

- ⑤「家庭学習や読書」は、児童の自己評価が1回目より14%増えました。  
 ⑬-1「朝の登校班」は、児童の自己評価が1回目より10%増えました。  
 ⑯「通学路の交通上の危険な場所と、不審者に対する対処法を家の人と話す」は、児童の自己評価が1回目より10%増えました。  
 ⑨「友達のいやがることを言ったり、したりしない」は、児童の自己評価が1回目より6%増えました。  
 ⑩「友達がいる、学校が楽しい」は、児童の自己評価が1回目より6%増えました。

### ○目標値を達成しているが数値を上げたい項目

- ⑥「忘れ物をしないように毎日道具をそろえている」 94%/90%  
 ●保護者側のまとめにある方で改善を図っていきます。お子さんが自らできるようになるまでは、発達段階に応じて働きかけをお願いします。

- ⑧「名前を呼ばれたら、「はい」と返事をする」 96%/90%  
 ★学校では、教師が返事の手法を示すとともに、大きな返事が心がける強化週間を設定して、返事の指導の充実を図ります。  
 ■家では、はきはきとした返事を目標に、お子様に対して繰り返し指導をお願いします。

- ⑪-1「すいみんを十分にとり、朝ごはんを食べている」 90%/80%  
 ★学校では、寝る時刻や起きる時刻が遅くて朝食時間が確保できていない児童に対し原因を考え、生活リズムに関する指導を行います。  
 ■家では、お子様と話し合っって寝る時刻、起きる時刻、朝食の時間帯、家を出る時刻を設定していただき、生活時間について振り返りながらお子様の生活リズムを整えてあげてください。

※ 保護者のべ72名、児童(3年以上)49名から回答をいただきました。ありがとうございました。